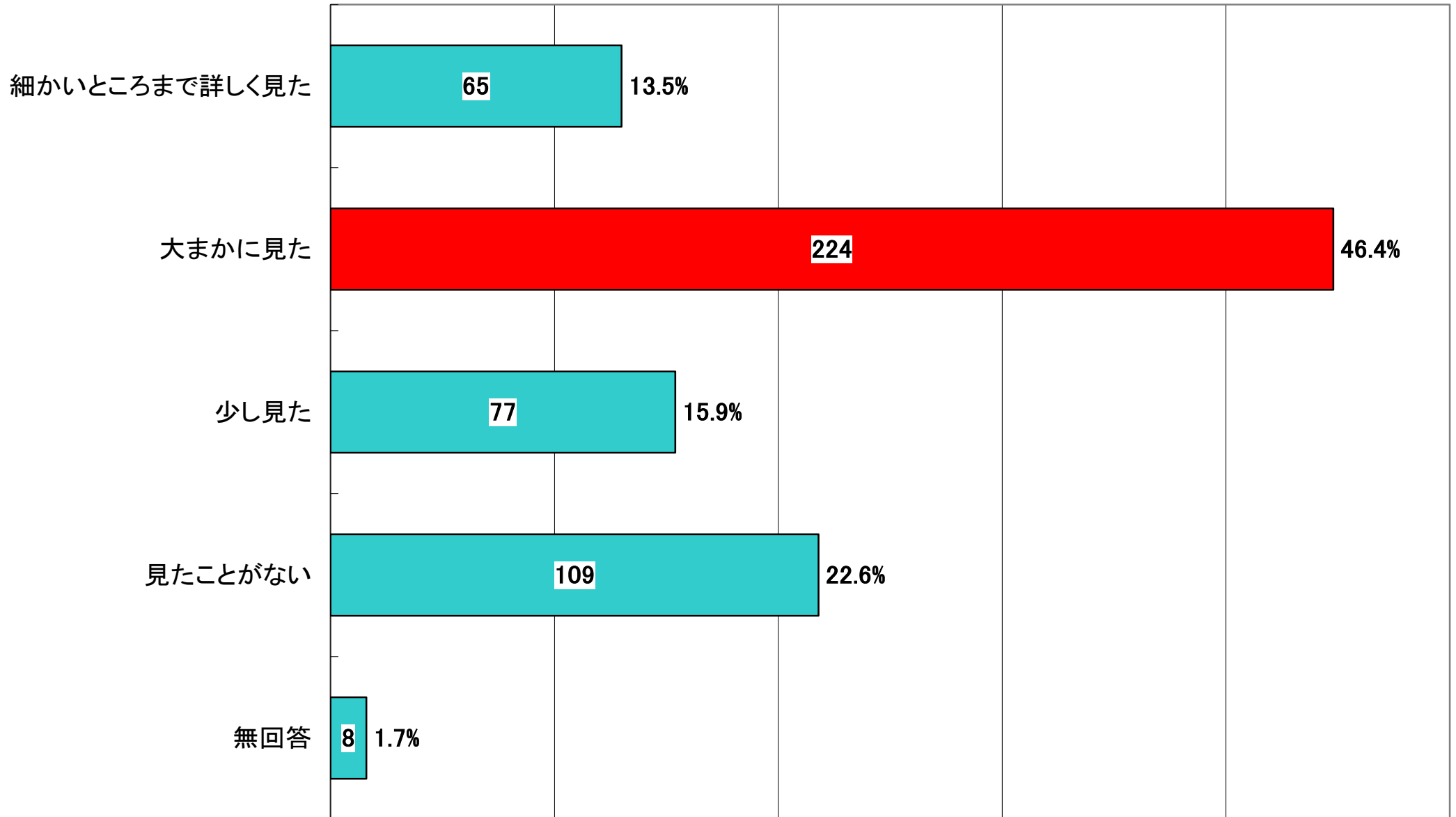


防災に関する自治会アンケート調査 (最終集計結果)

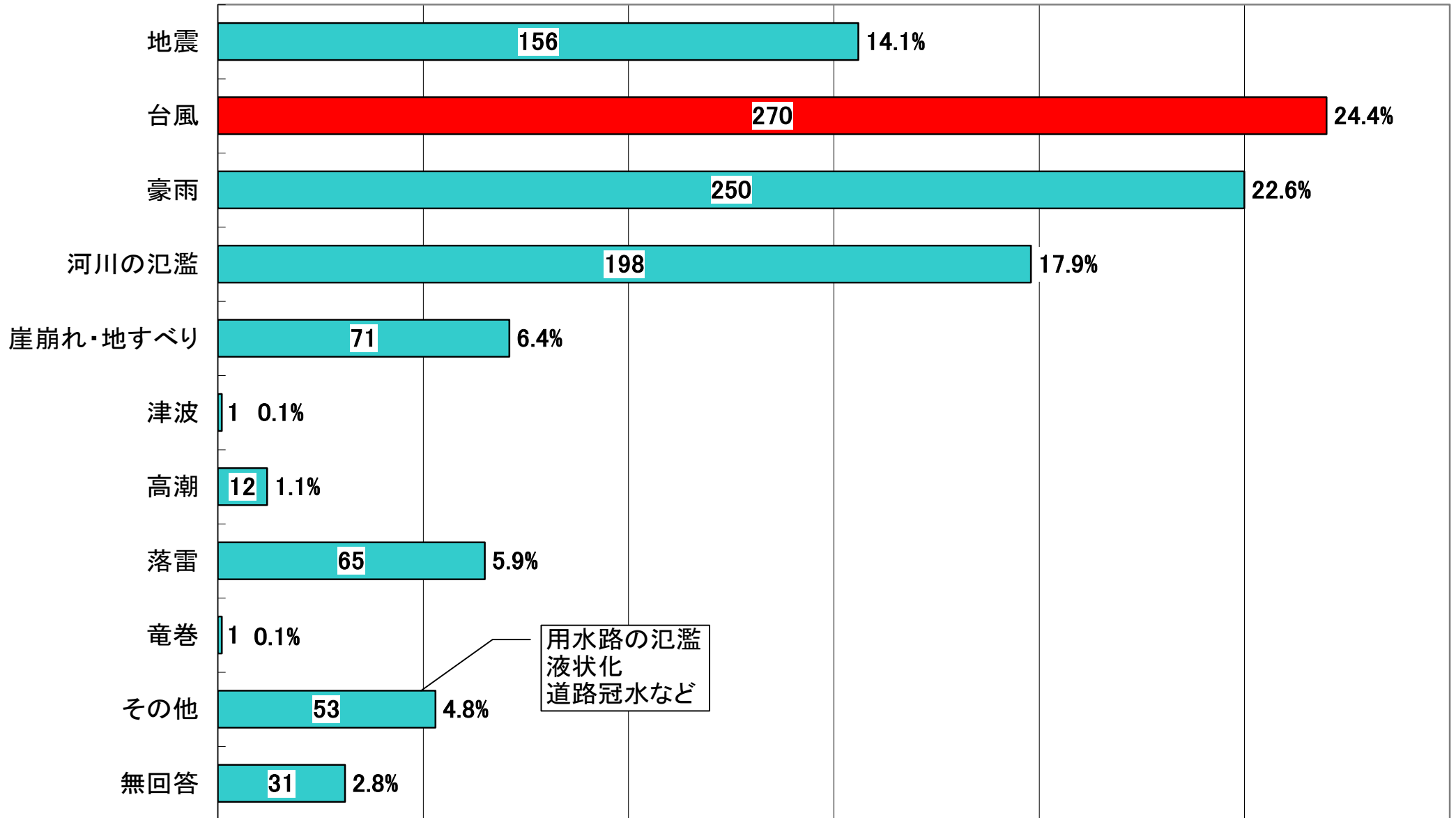
H25.6.19 現在

区分	自治会数	返却数	回収率
西条	368	313	85%
東予	121	110	91%
丹原	32	29	91%
小松	27	24	89%
無記名など		7	
合計	548	483	88%

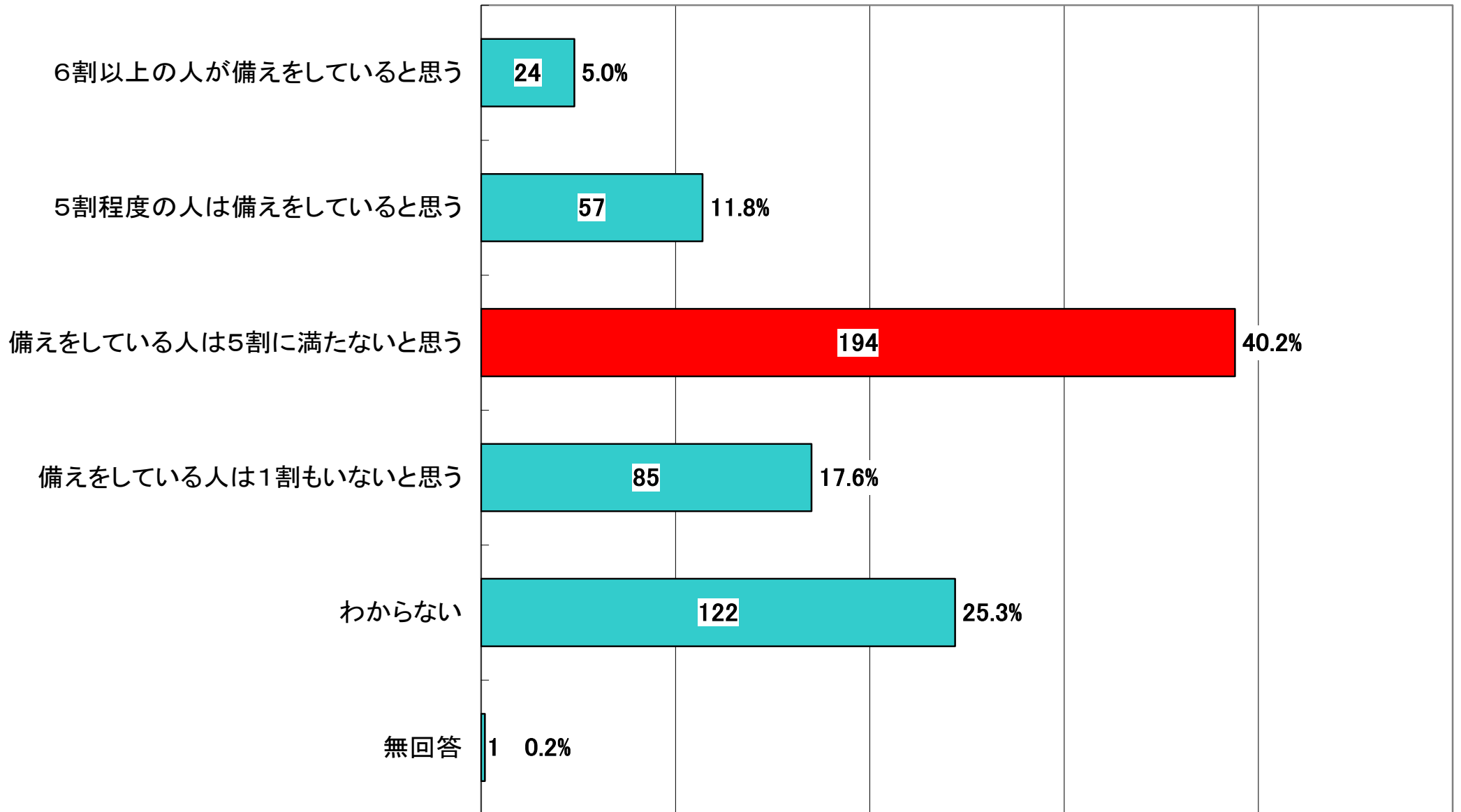
問1 あなたの自治会における河川の堤防決壊や津波による浸水区域がわかる、市のハザードマップや地域防災地図をご覧になったことがありますか。



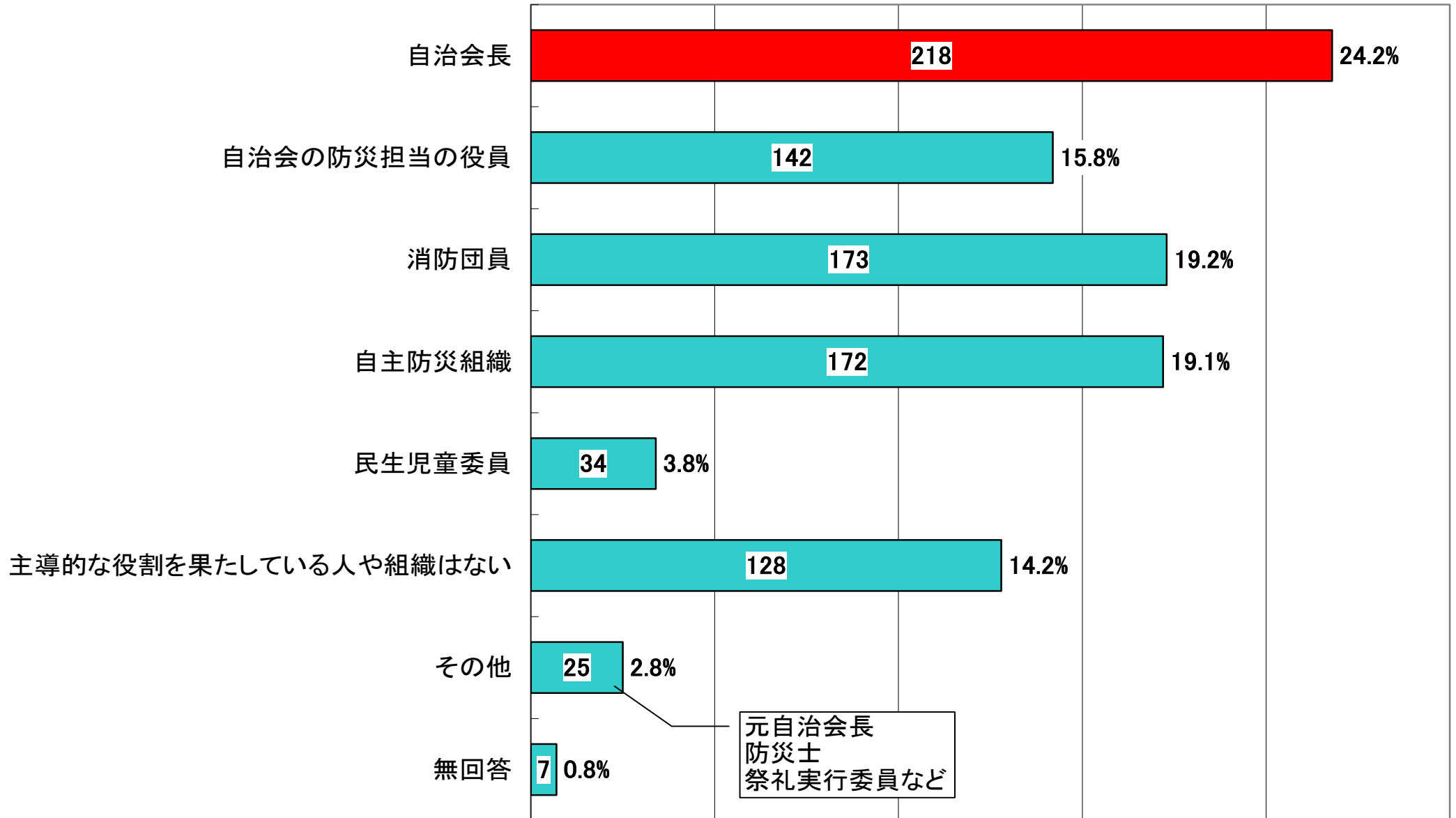
問2 あなたの自治会がある地区では今までにどのような災害が起きていますか。
(複数回答)



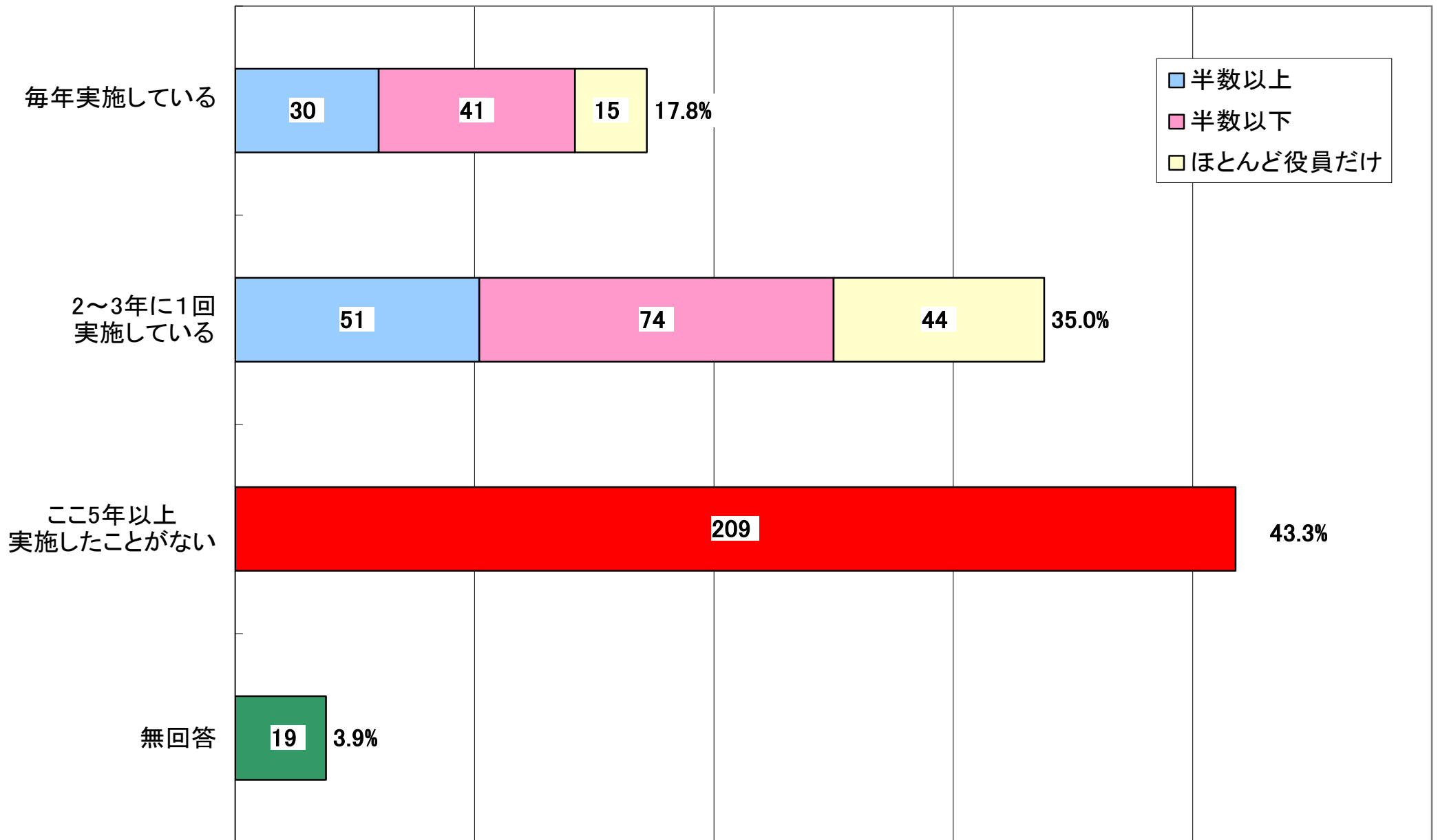
問3 あなたの自治会の住民のなかで、自分たちの生命や財産を守るために何らかの対策を実施している人は、どのくらいいると思いますか。



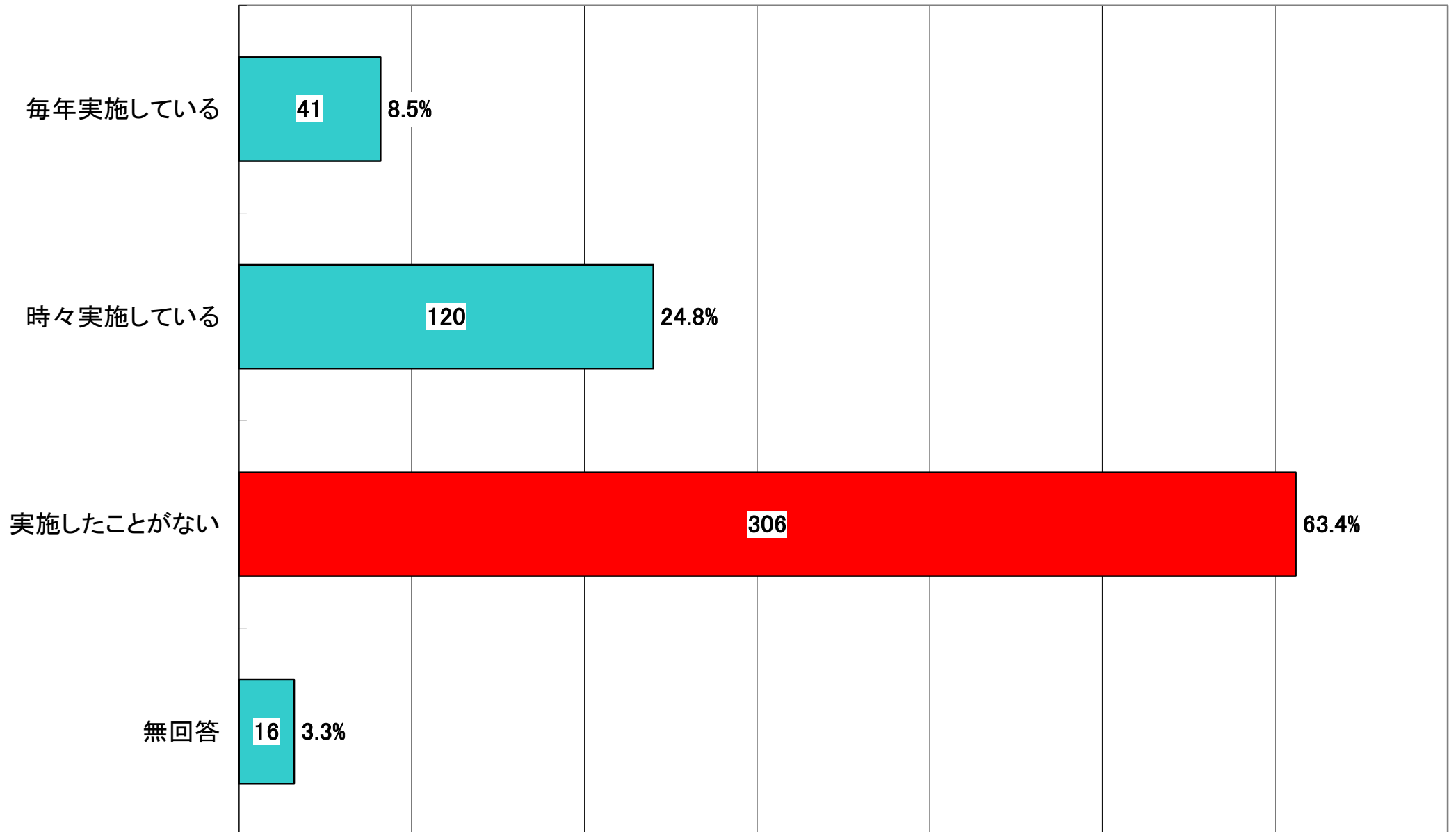
問4 あなたの自治会の防災活動では
どのような人または組織が主導的な役割を果たしていますか。(複数回答)



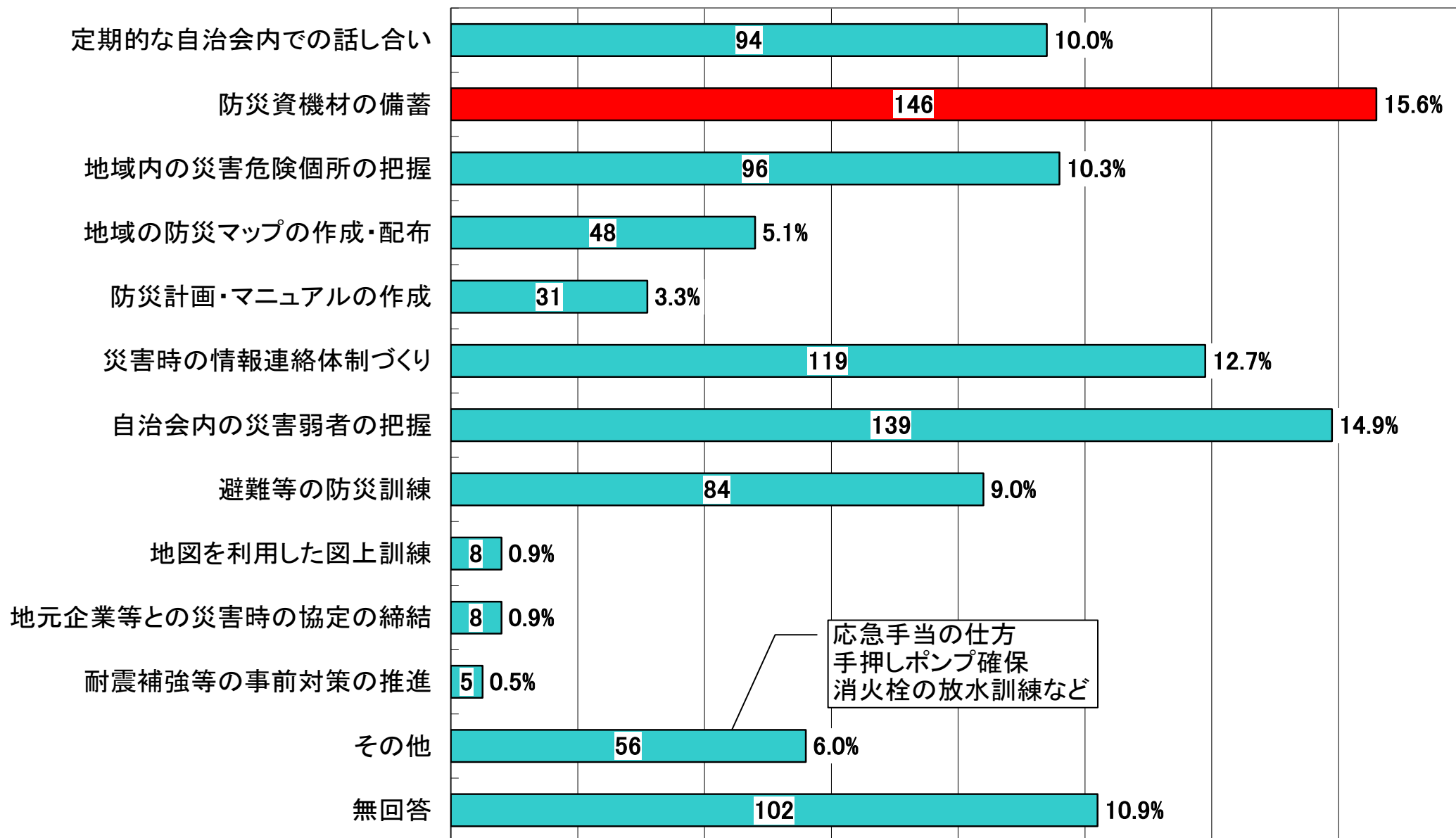
問5 あなたの自治会では防災訓練を実施したことはありますか。



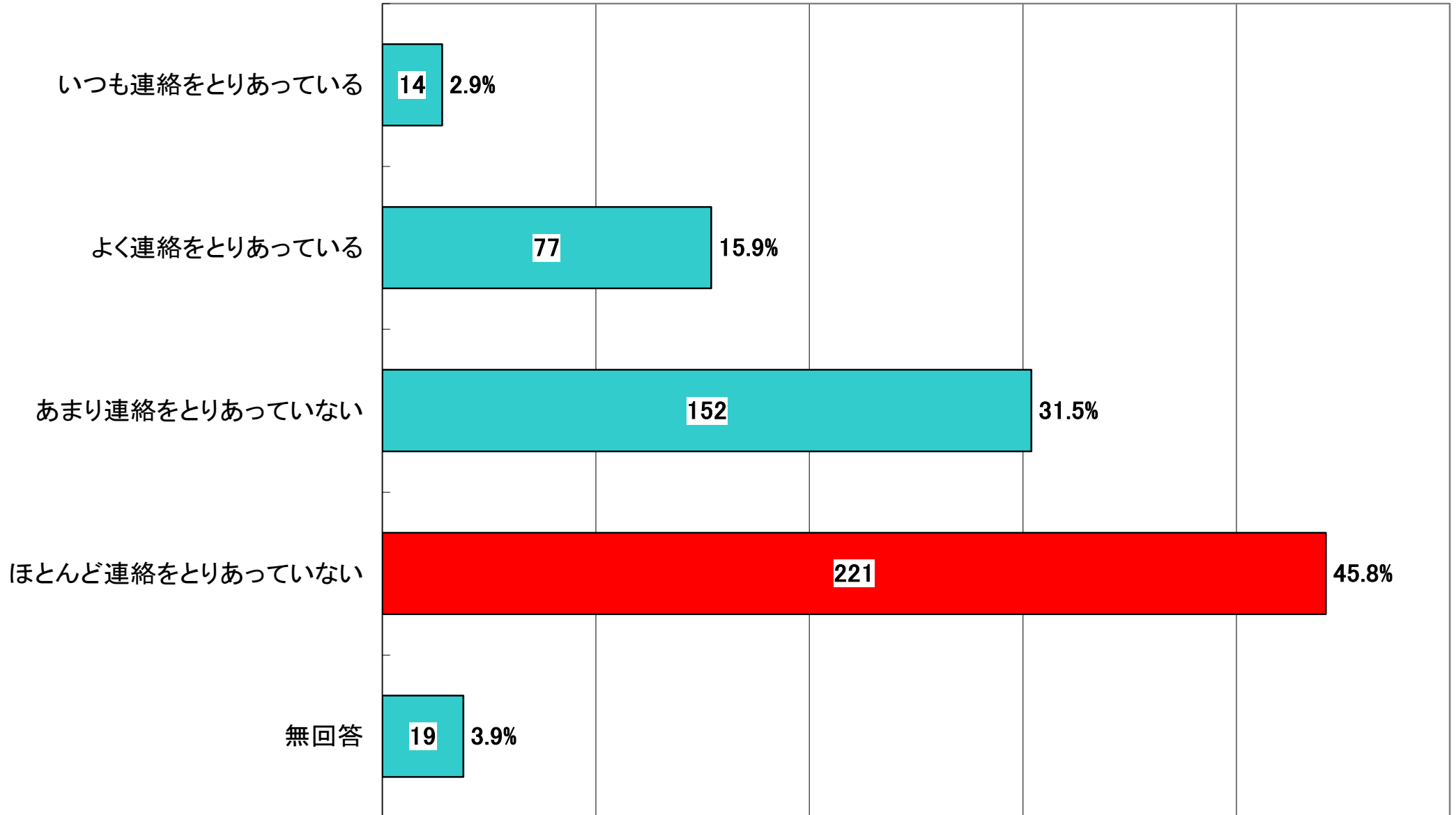
問6 あなたの自治会では防災に関する研修会や学習会など実施したことはありますか。



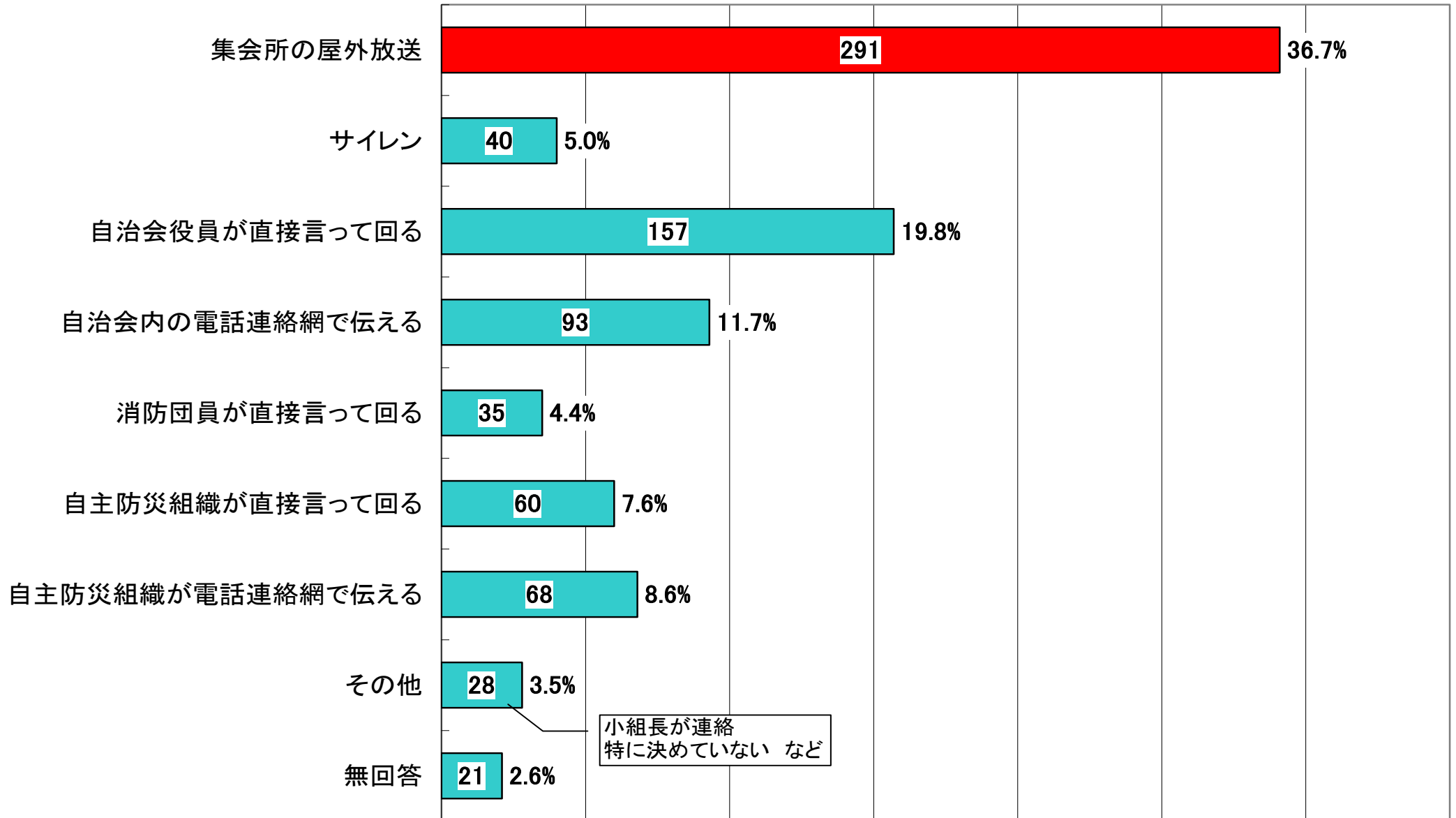
問7 あなたの自治会が独自に実施している防災対策・活動についてお聞きします。
次の各項目について、実施しているものは何ですか。(複数回答)



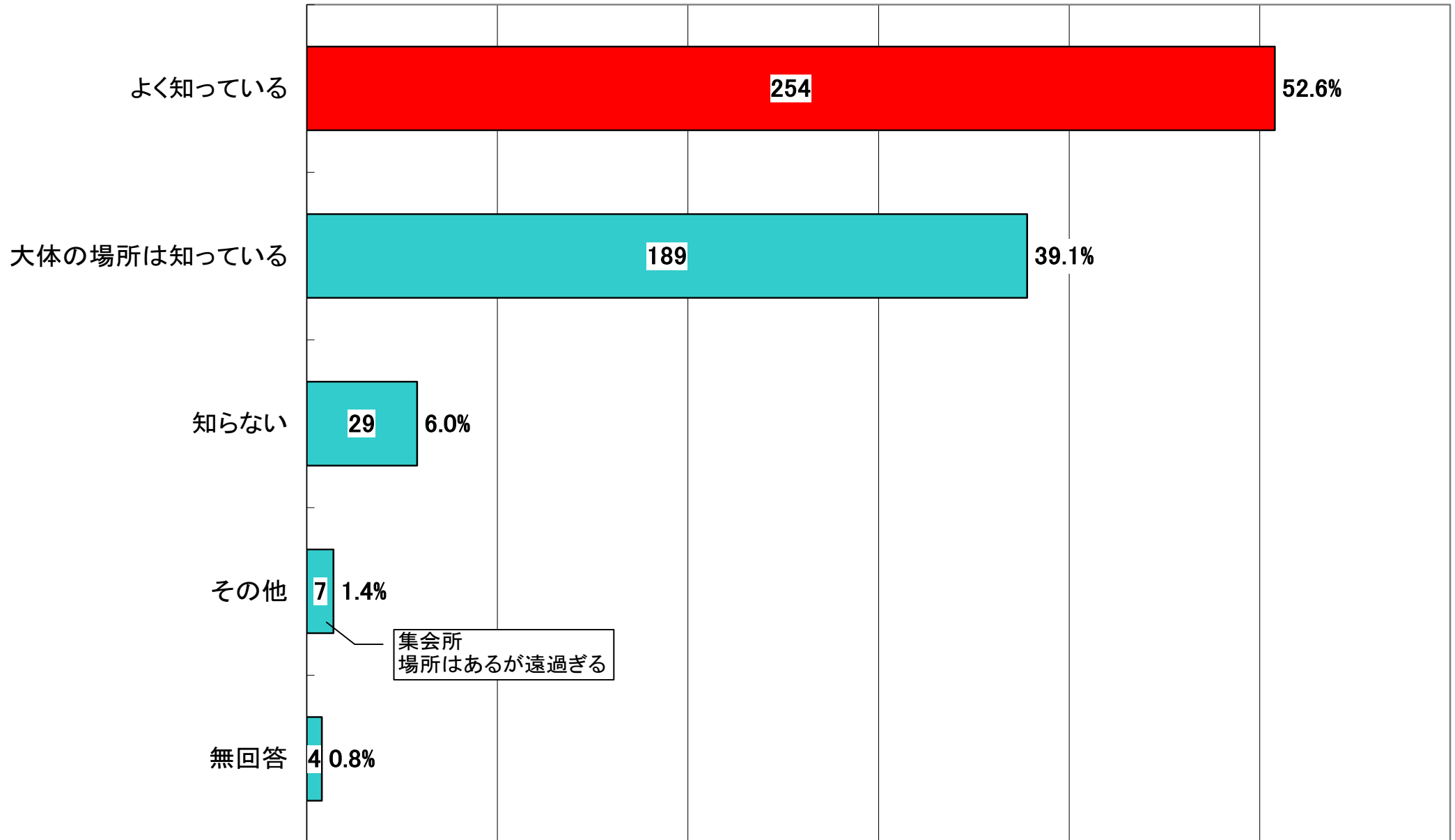
問8 あなたの自治会は、防災面で何か困ったことがあったときなどに、市や消防署・消防団と連絡を取りあっていますか。



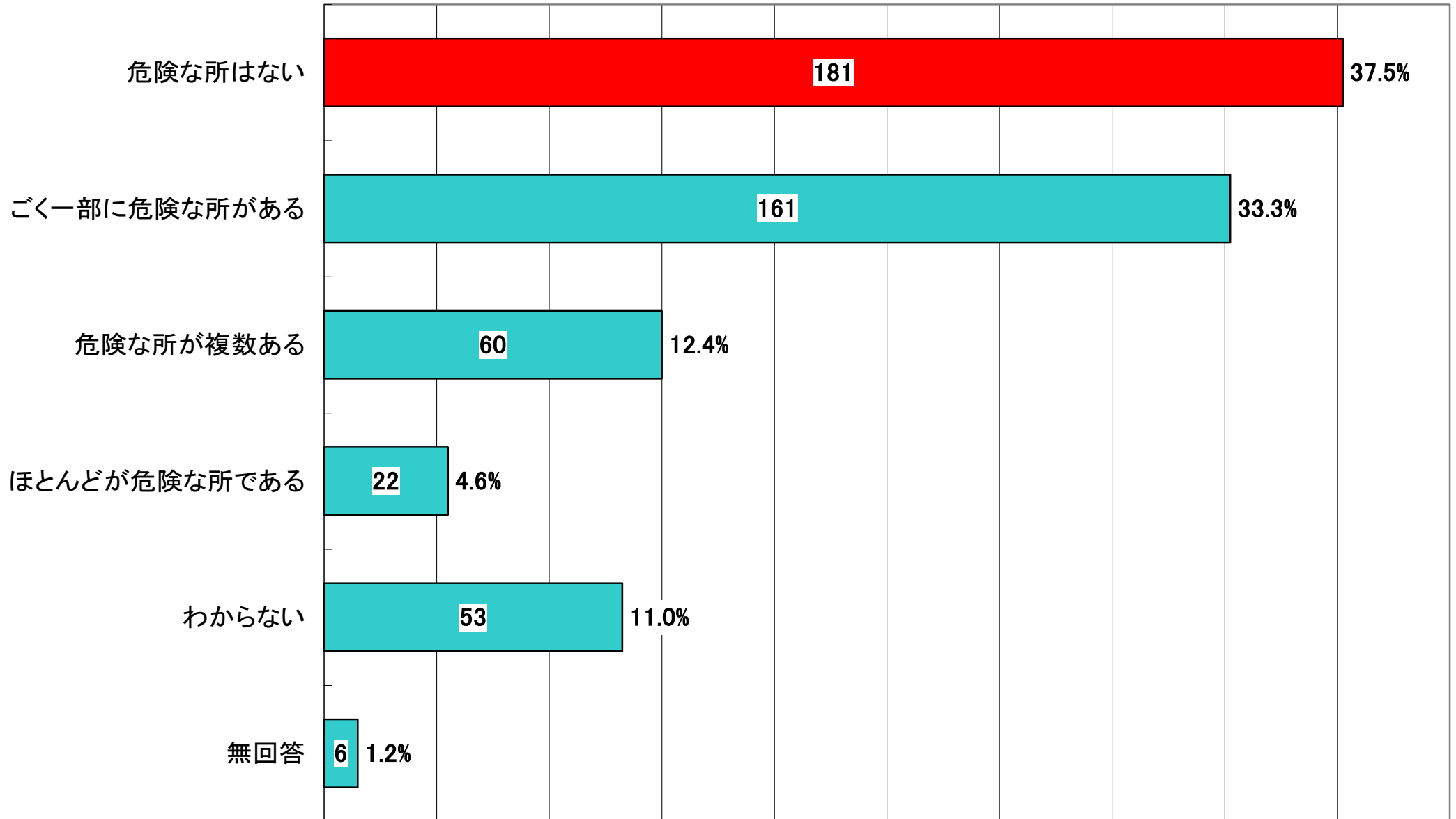
問9 あなたの自治会では住民に、緊急時に一斉に情報を知らせるための手段として、どのようなものを使用していますか。(複数回答)



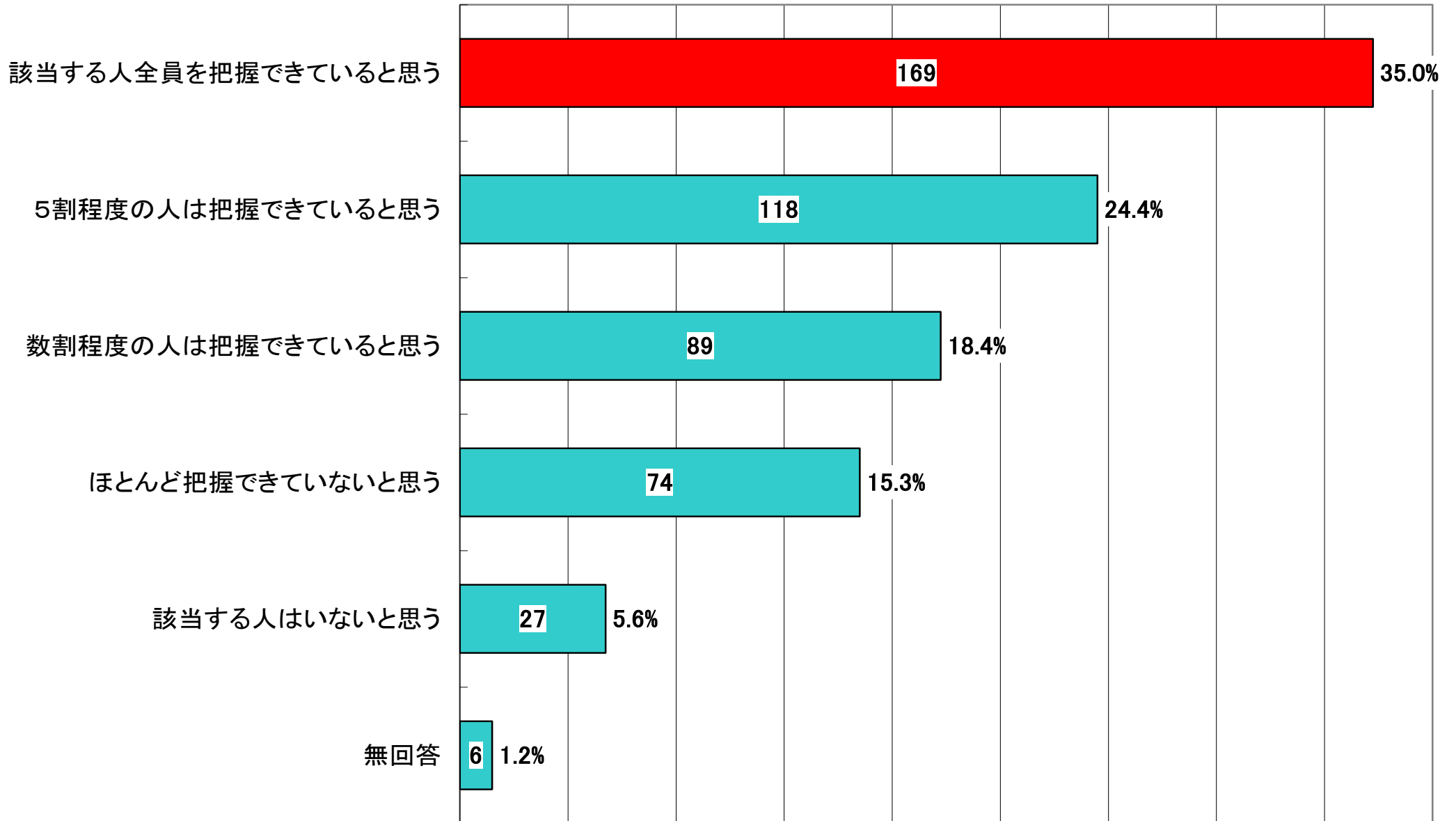
問10 あなたの自治会の最寄りの避難場所を知っていますか。



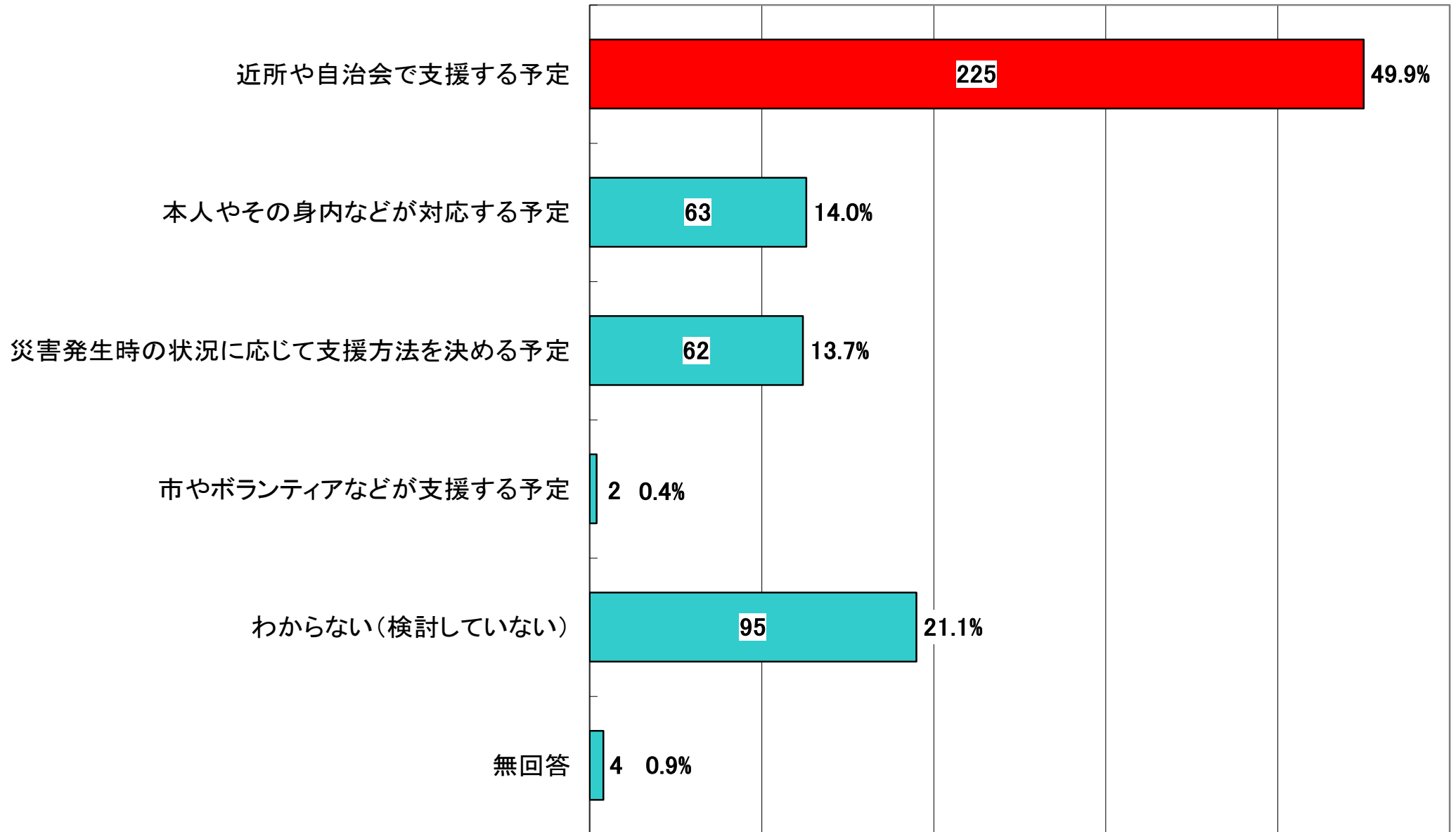
問11 災害の危険が高まり避難することになったとき、
あなたの自治会の住民が避難場所へ行く道に危険な所はありますか。



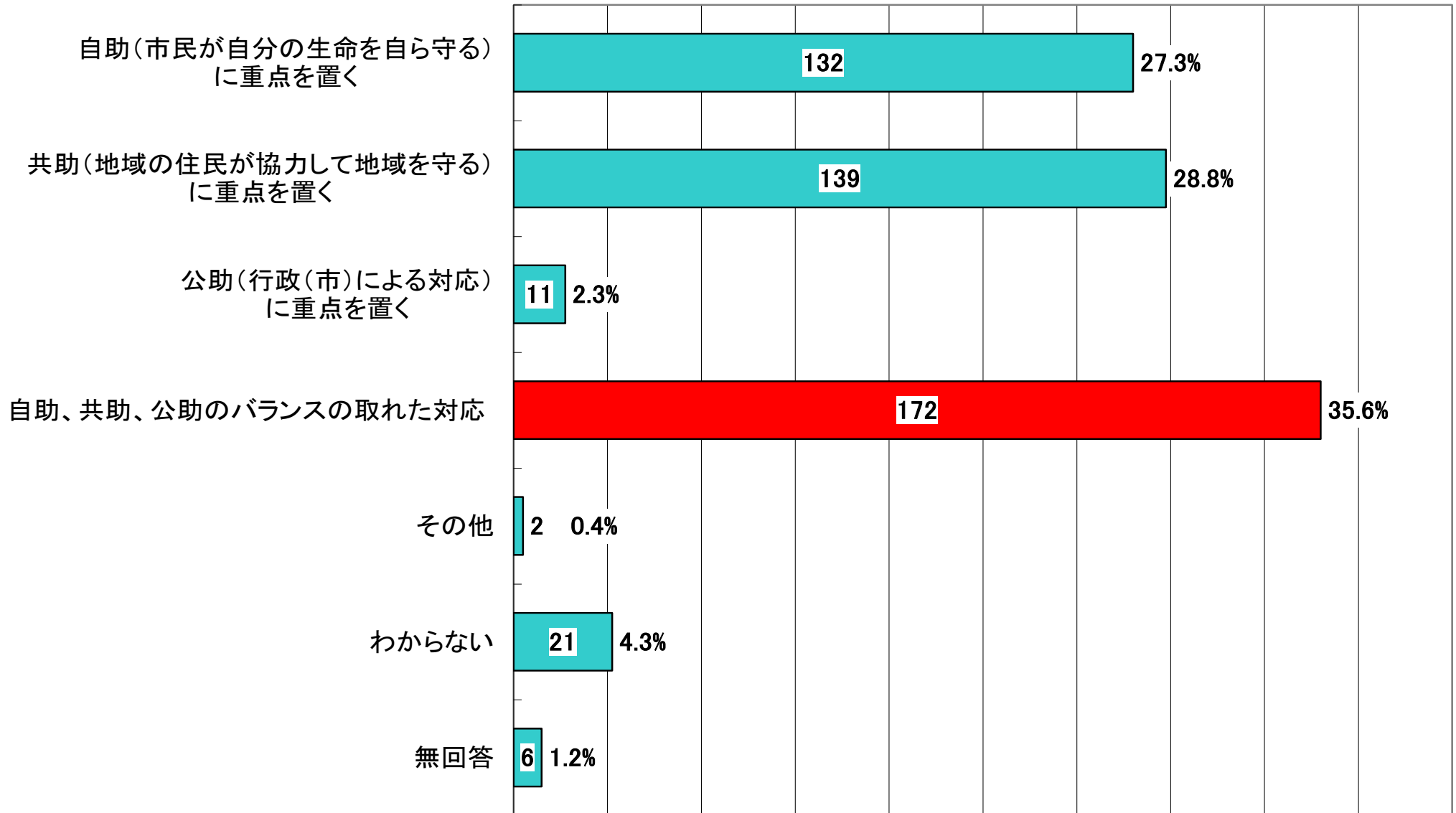
問12 あなたの自治会では、自力で避難できない高齢者や障害者について、どのくらいの割合で把握できていると思いますか。



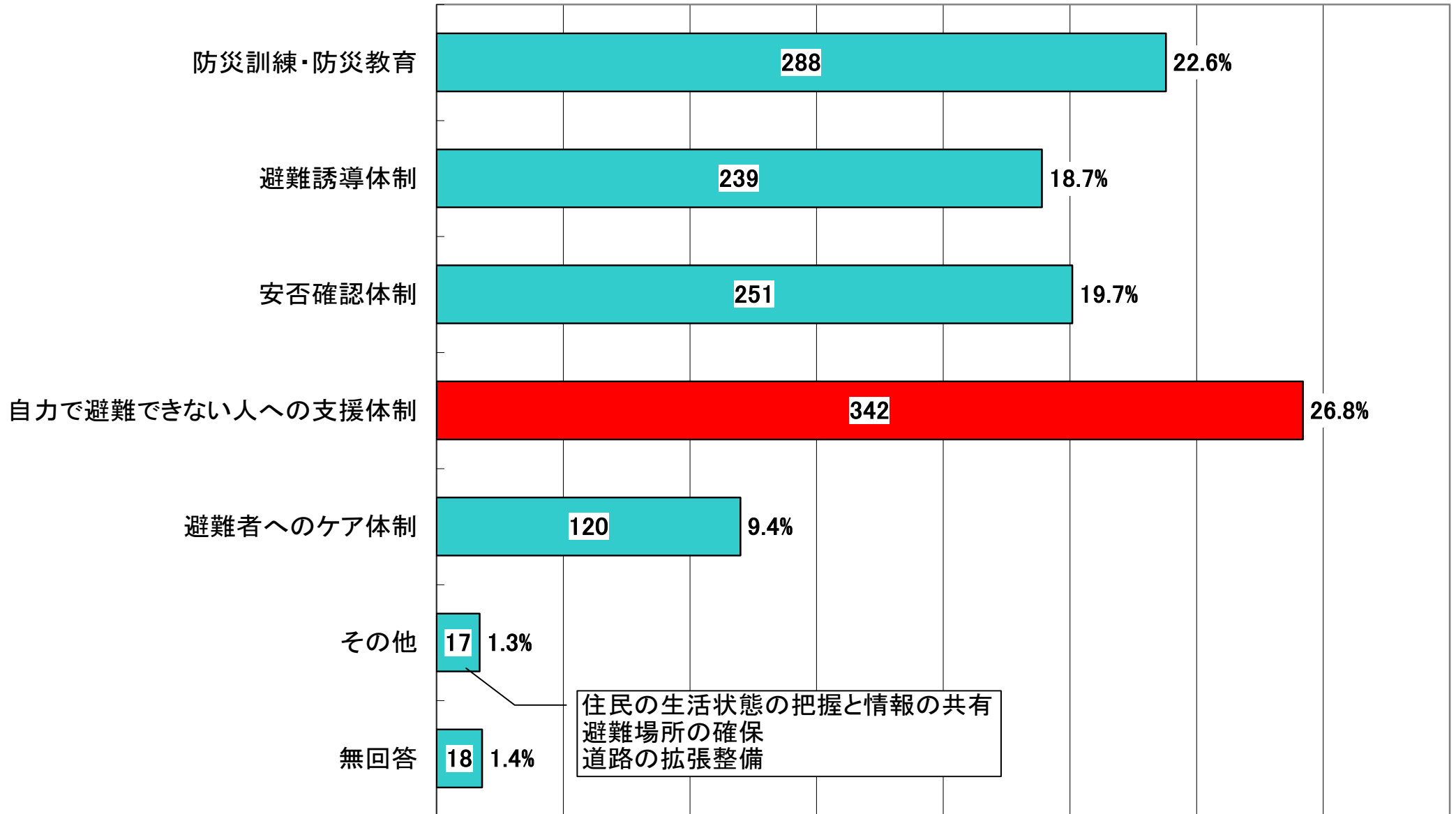
問13 問12で、「1～4」を選んだ方にお聞きします。
災害が起きたとき、この方々の安否確認や避難支援はどのように検討されていますか。



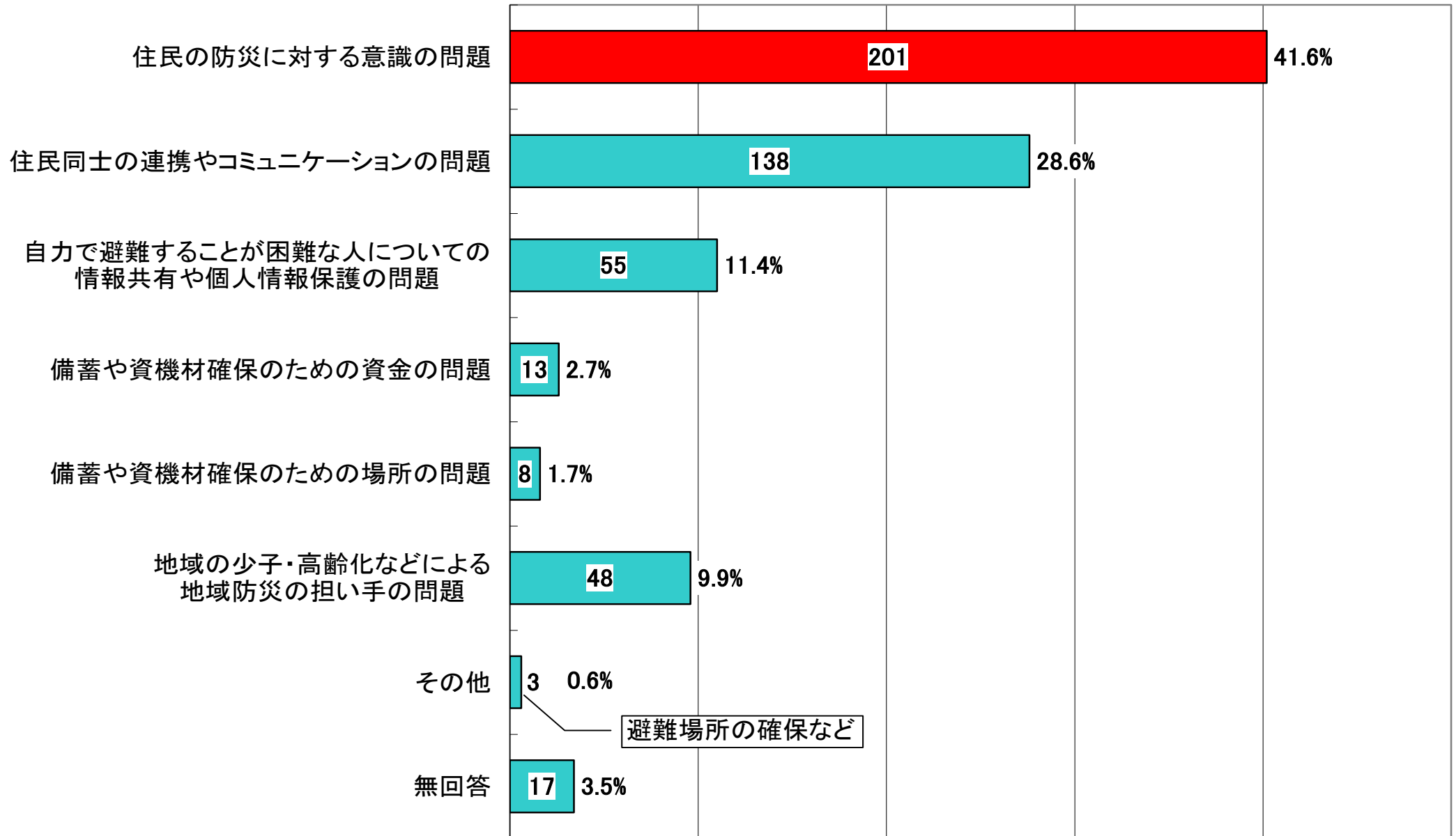
問14 災害時の対応のあり方として、「自助、共助、公助」という考え方があります。
あなたの自治会がある地区で、災害に対応するためには
「自助、共助、公助」の役割分担はどのようにあるべきだとお考えですか。



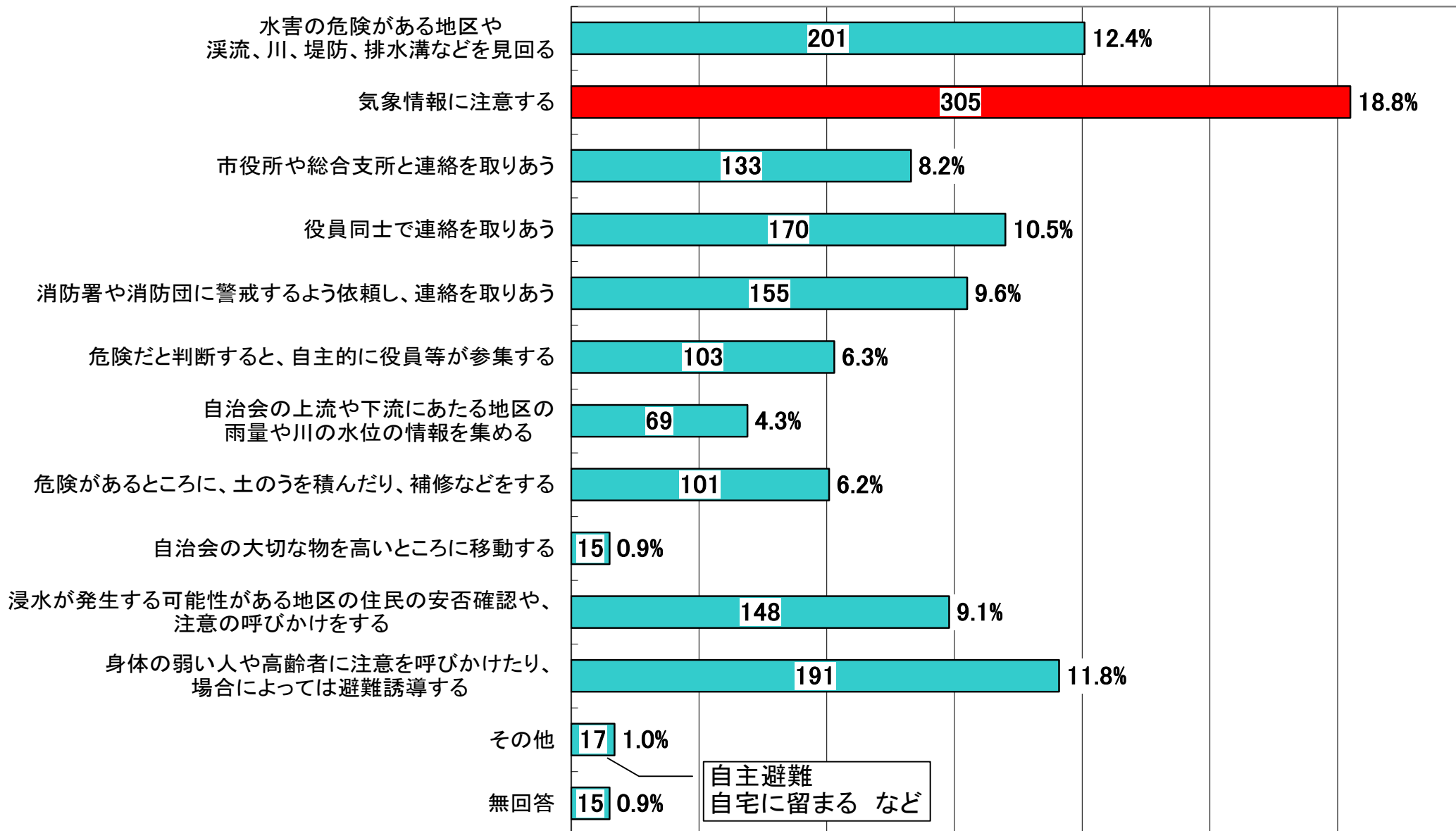
問15 地域の防災にとって、必要だと思われるものは何ですか。
(複数回答)



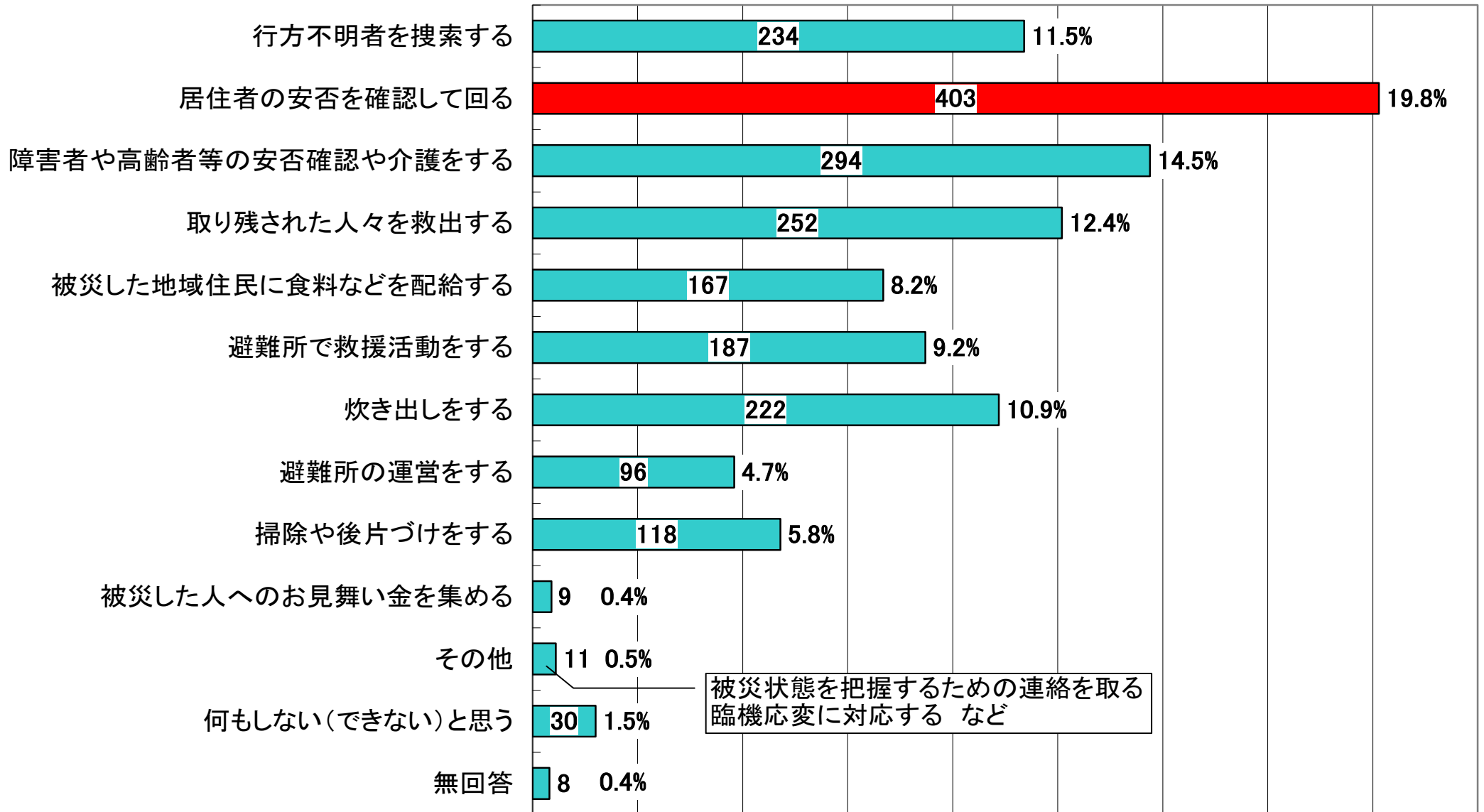
問16 あなたの自治会の防災力を高めるために、何が最も大きな課題だとお考えですか。



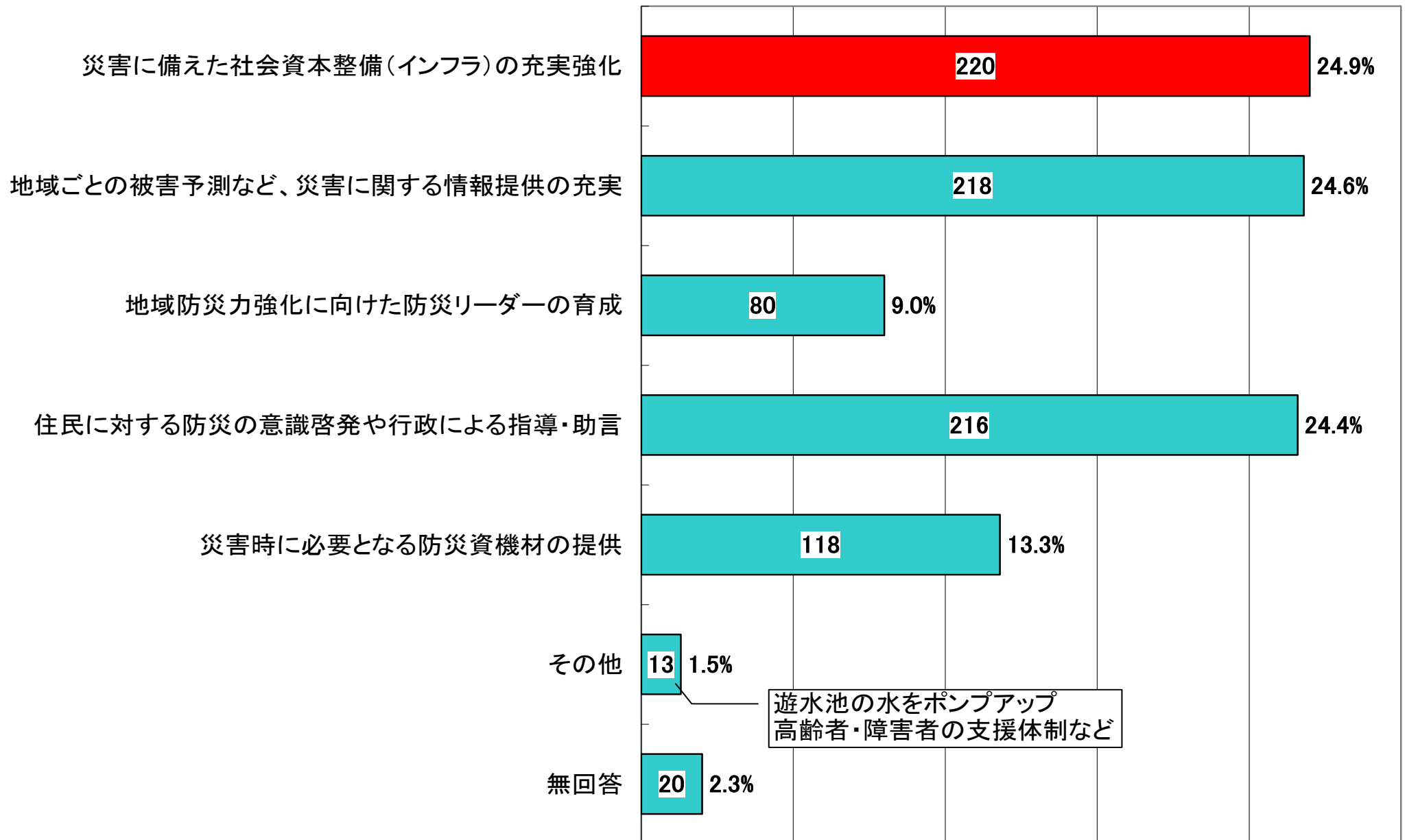
問17 長雨が続きたり、雨が強まったりして水害の危険が高まったとき、あなたの自治会ではどのようなことをしますか。(複数回答)



問18 あなたの自治会の地域が、大規模な災害のために周囲から援助が受けられなくなった場合、被災から3日目くらいまでの間に、自治会ではどのような活動をすると思いますか。
(複数回答)



問19 行政にどのような防災対策を望んでおられますか。(上位2項目に○)



問20 問19で「災害に備えた社会資本整備(インフラ)の充実強化」を選んだ方にお聞きします。
 具体的にはどのようなインフラの整備を重点的に進めるべきと思われますか。(上位4項目に○)

